

～未成年者の喫煙防止対策に関するアンケート結果について～

○アンケート概要

▶ 調査目的

未成年者の喫煙は、健康への影響が大きく、また法律で禁じられている。それにも関わらず、本県の未成年者で喫煙経験のある者の割合は減少傾向にあるものの、0 %には至っていない。そこで、未成年者に喫煙防止啓発のリーフレットの配布及びアンケートを実施し、リーフレットによる啓発効果の検証及び未成年者の喫煙の実態、関連要因の把握を行った。

▶ 調査方法

留置調査

▶ 調査対象

県内の小学校 5 年生、中学校 2 年生 計 5, 643 人

(各市町村から児童、生徒数の多い 1 校ずつを抽出)

	男	女	無回答	計
小学校 5 年生	1, 117	1, 067	3	2, 187
中学校 2 年生	1, 711	1, 660	5	3, 376
無回答	14	5	63	82
計	2, 842	2, 732	71	5, 645 (※)

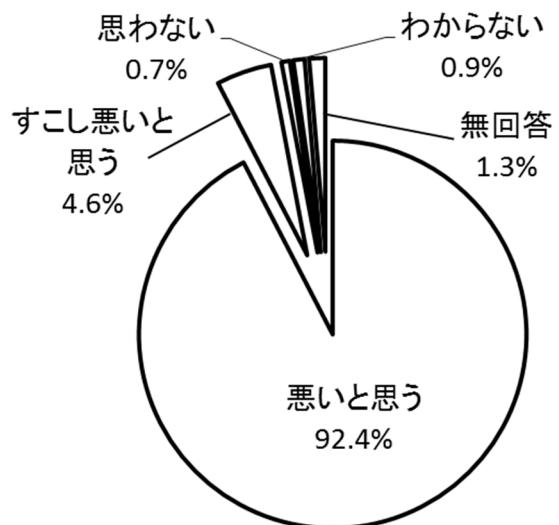
※重複回答があったため、実際の件数より
多くなっている。

▶ 調査票

2 ~ 3 ページ参照

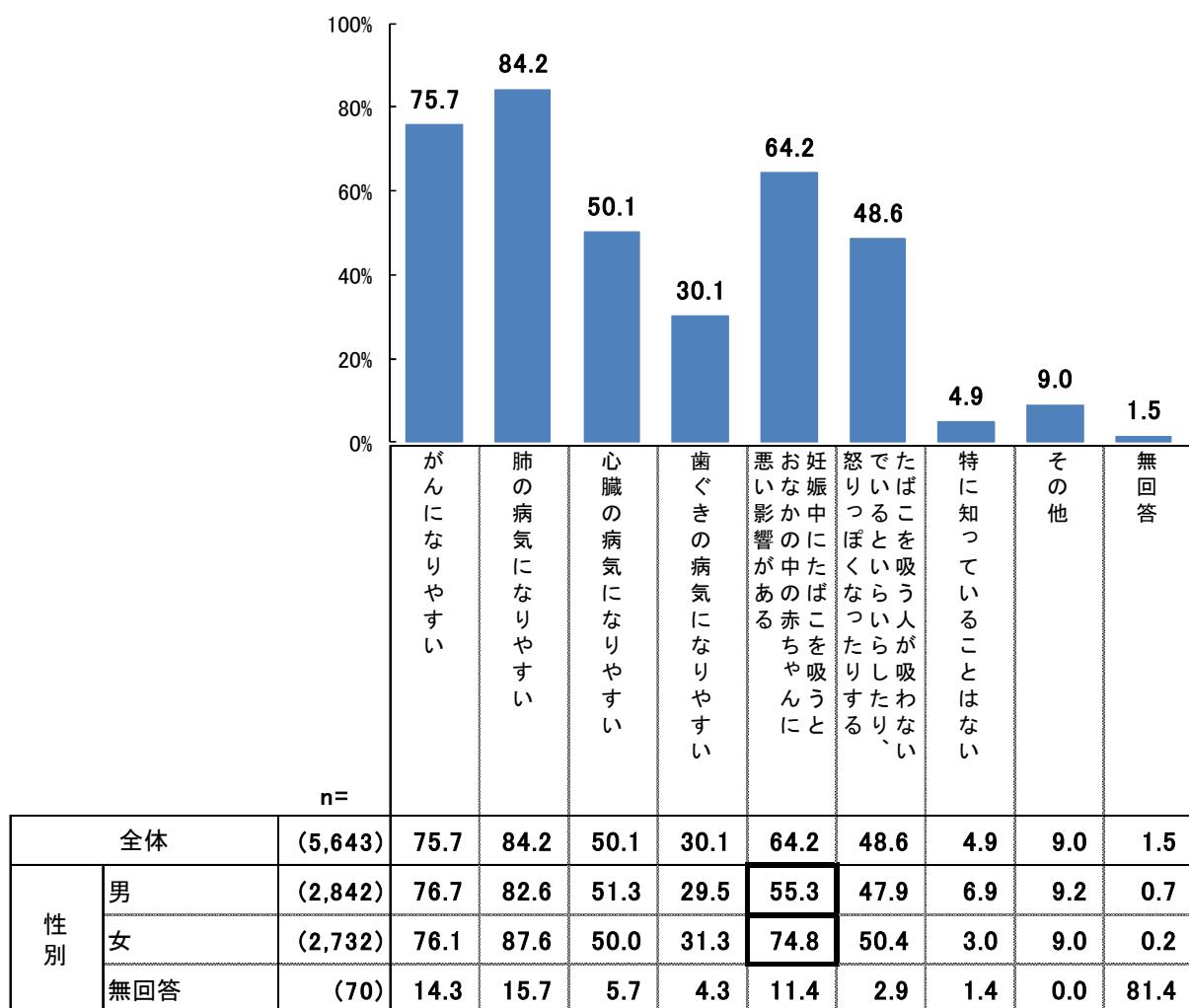
○主な結果

▶ 未成年者たばこに対する印象



→97%がたばこに対して「身体に悪い」という印象を持っている。

▶ たばこの害についての認知度

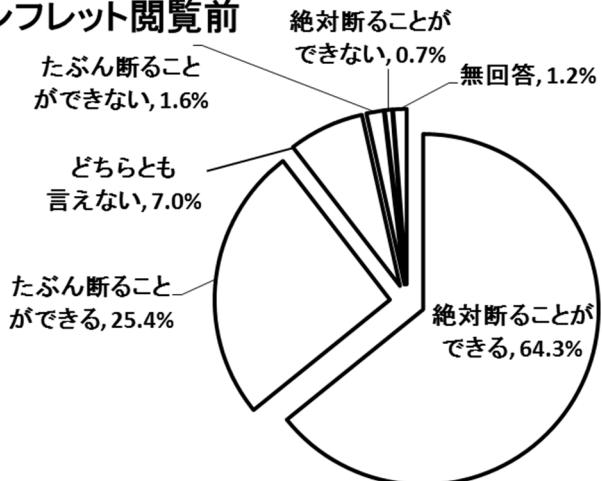


→「妊娠中にたばこを吸うとおなかの中の赤ちゃんに悪い影響があることを知っている」と回答した割合について、男子児童・生徒に比べ、女子児童・生徒の方が妊娠中の喫煙リスクを認知しており、20%の差が出た。

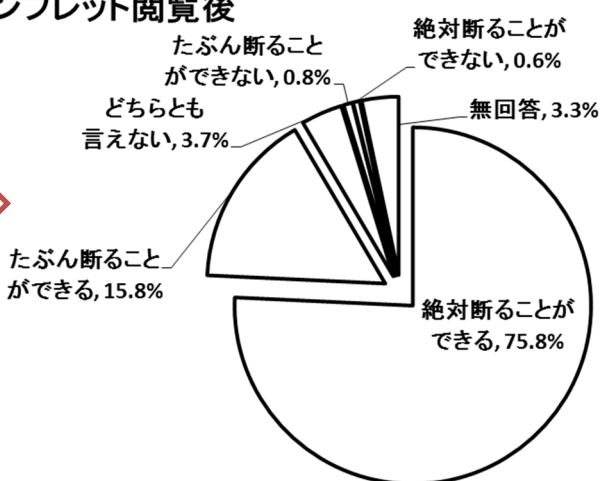
▶ リーフレットの効果

- もし友人や先輩からたばこを勧められたら断ることができますか。

パンフレット閲覧前



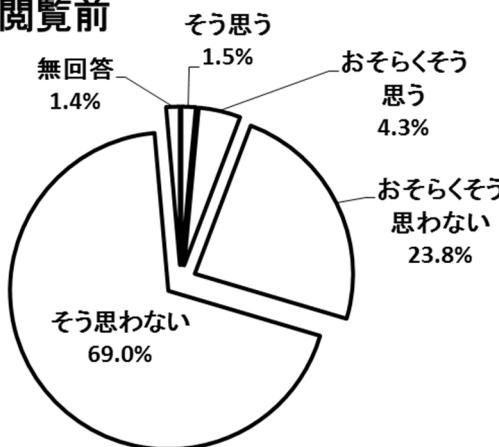
パンフレット閲覧後



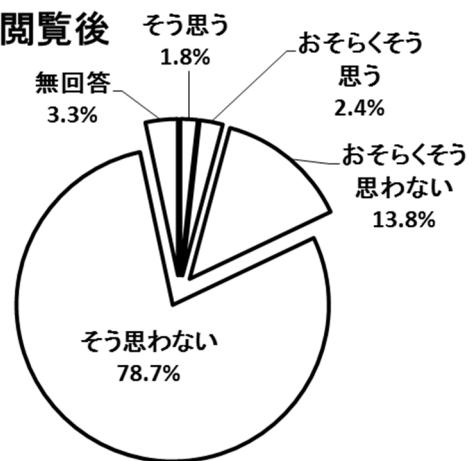
→閲覧前後で「絶対断ることができる」と回答した割合が12%上がった。

- あなたが将来大人になったときにたばこを吸っていると思いますか。

パンフレット閲覧前



パンフレット閲覧後

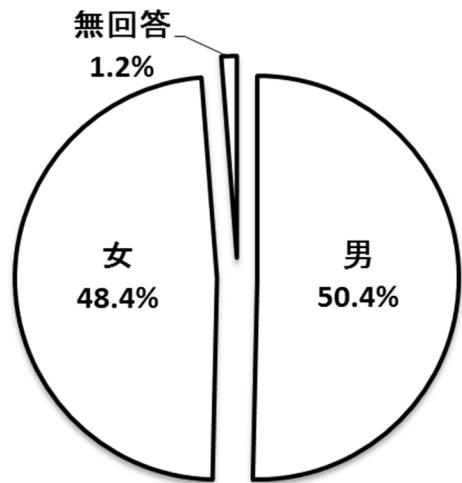


→閲覧前後で「そう思わない」と回答した割合が10%上がった。

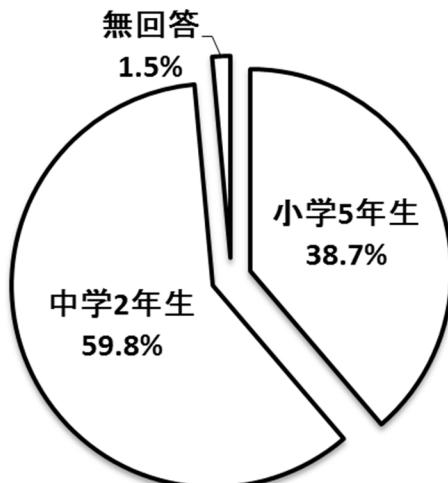
→リーフレットの閲覧前後で割合が低下したことから、リーフレットに喫煙を抑制する効果が見られた。

○集計結果（一部抜粋）

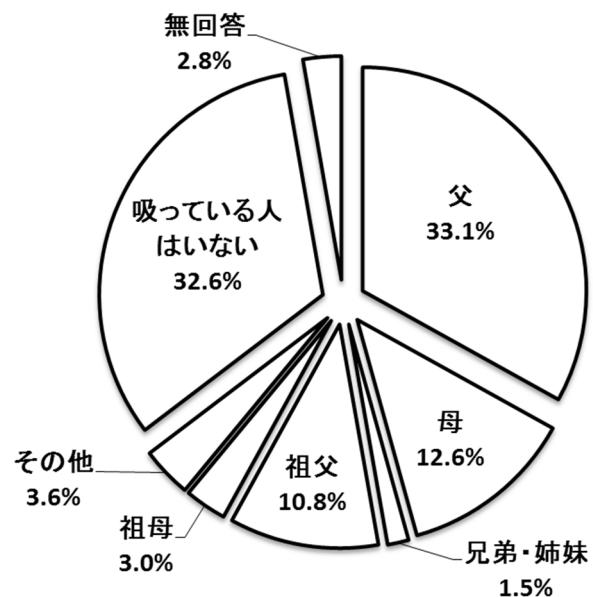
▶ 性別



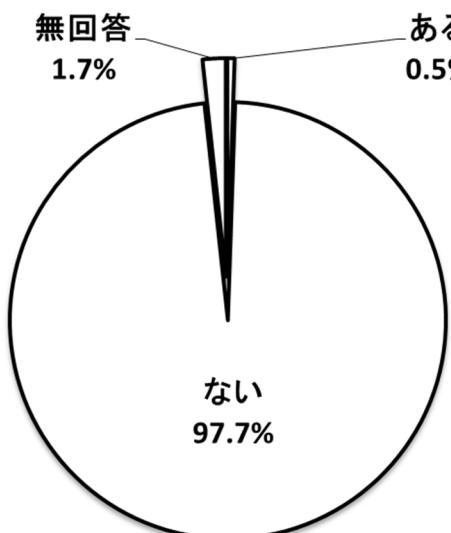
▶ 学年



▶ 家族でたばこを吸っている人はいますか。



▶ たばこを吸ったことはありますか。

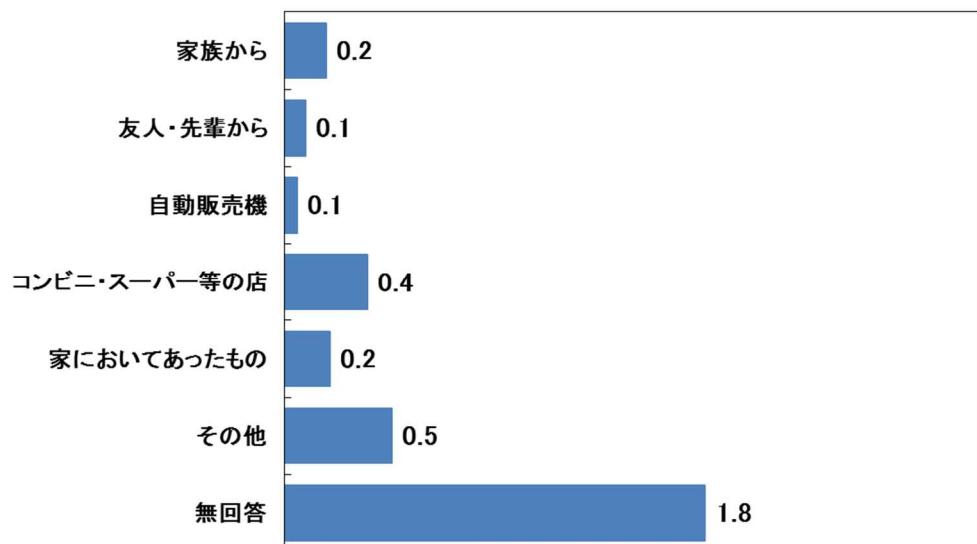


(内訳)

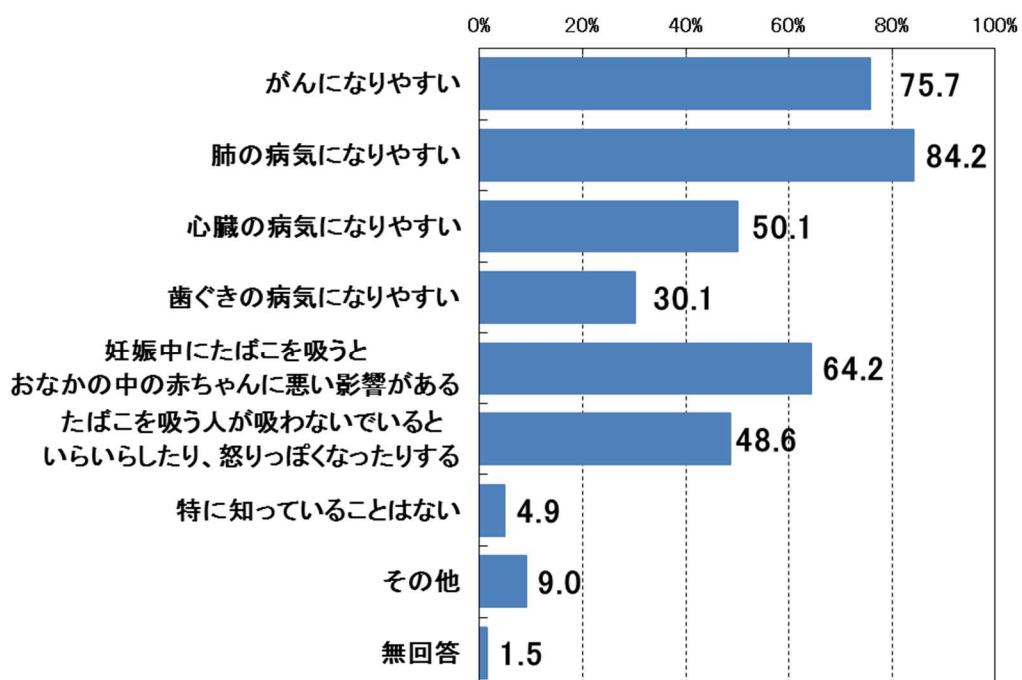
小学校5年生 男子 7人
小学校5年生 女子 1人

中学校2年生 男子 10人
中学校2年生 女子 12人

▶ どこでたばこを手に入れましたか。(喫煙経験者のみ回答)

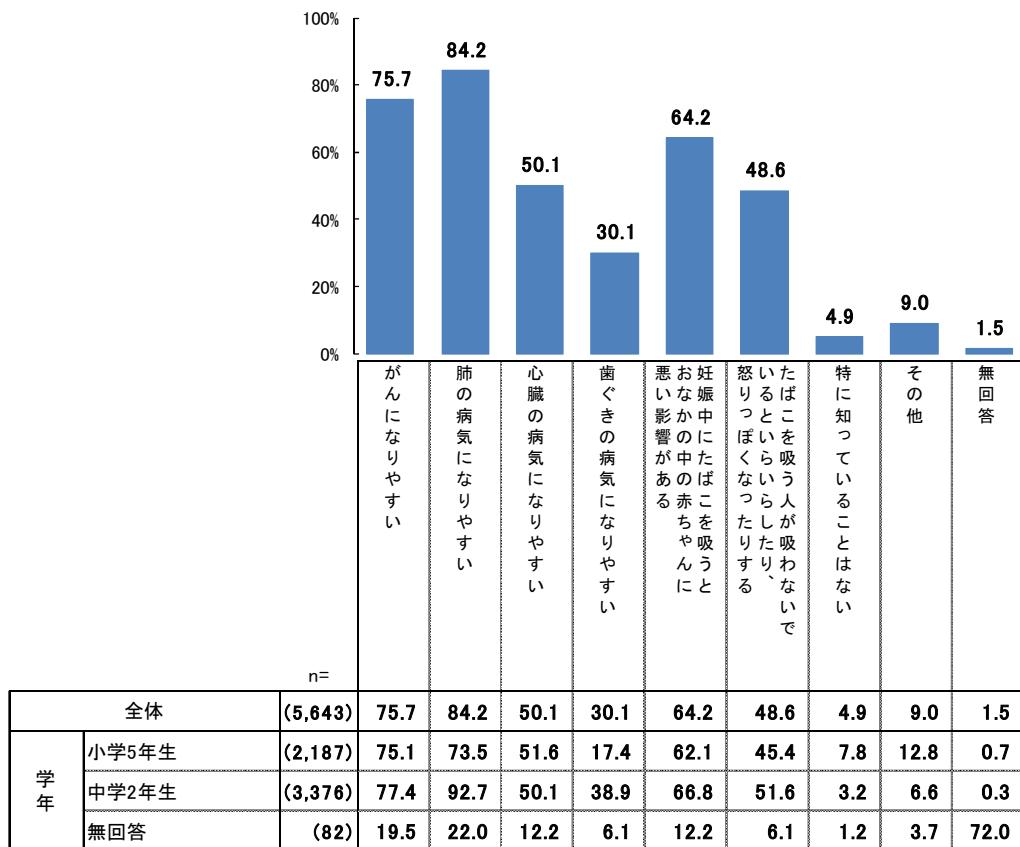


▶ たばこの害について、知っていることはありますか。



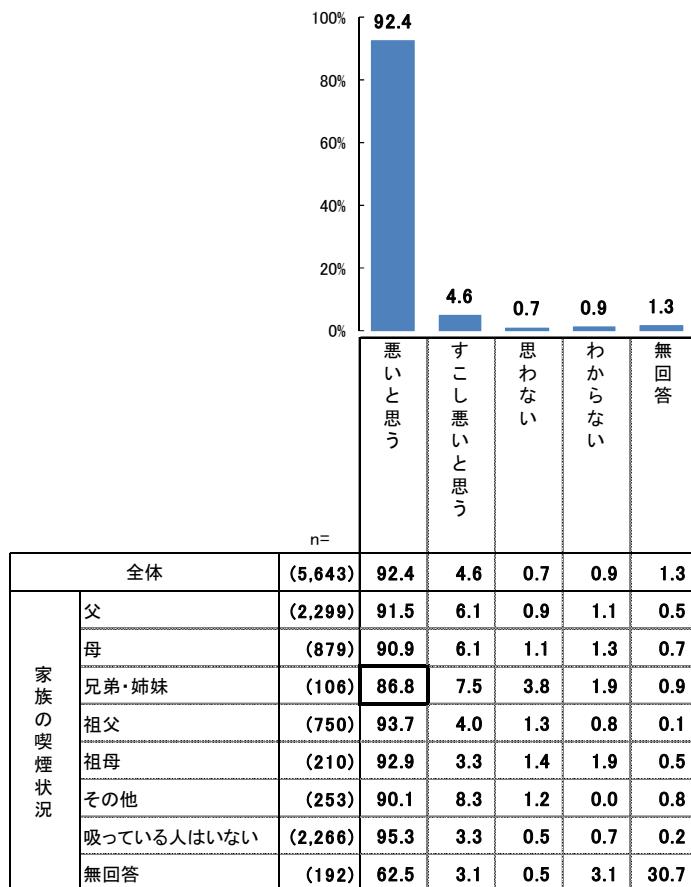
＜学年とのクロス集計＞

- ▶ たばこの害について知っていることはありますか。

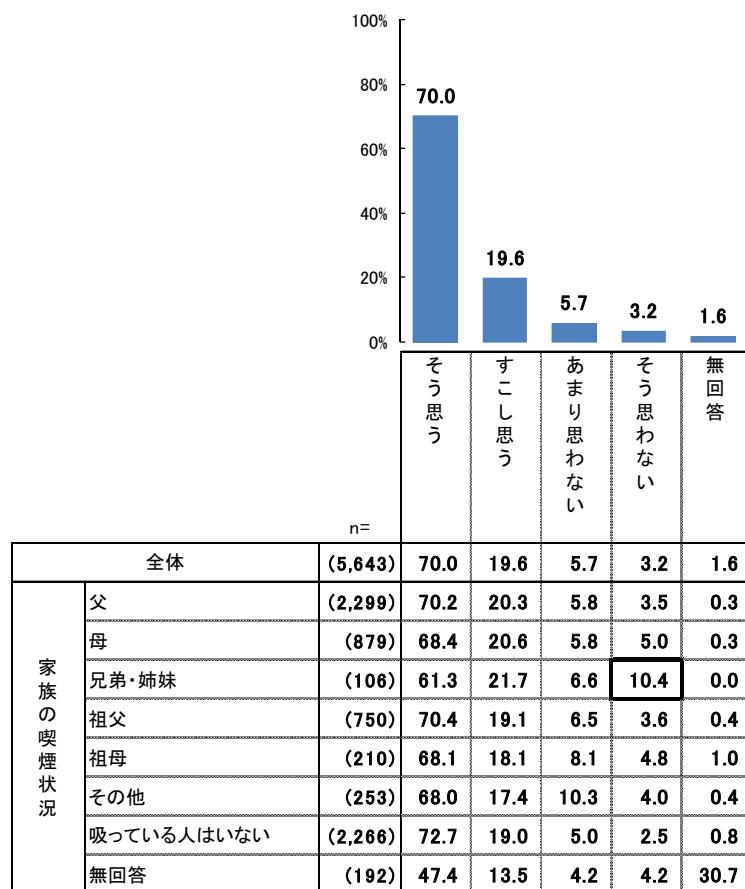


＜家族の喫煙状況とのクロス集計＞

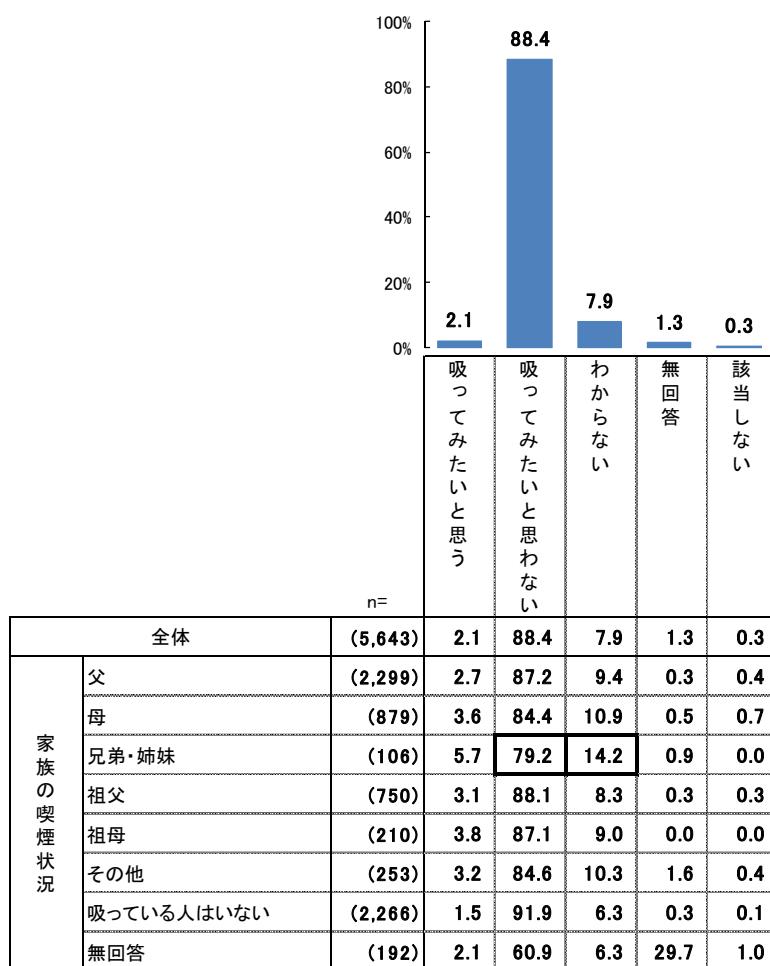
- ▶ たばこは身体に悪いと思いますか。



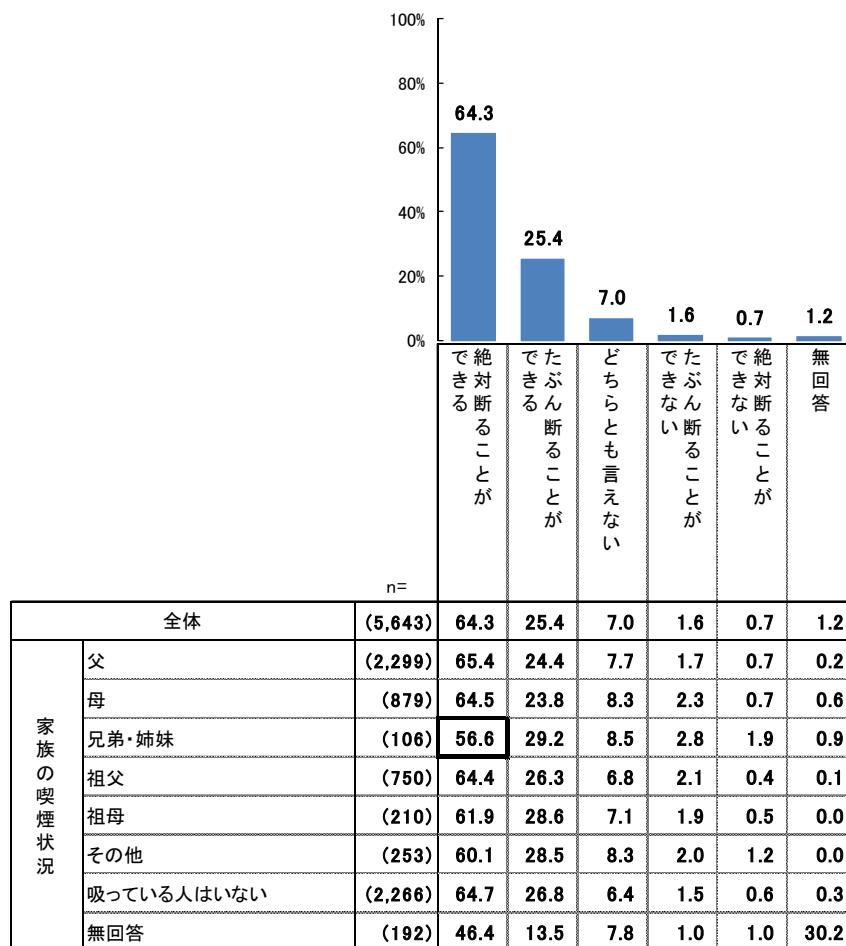
- ▶ まわりのたばこを吸っている人にたばこをやめてほしいと思いますか。



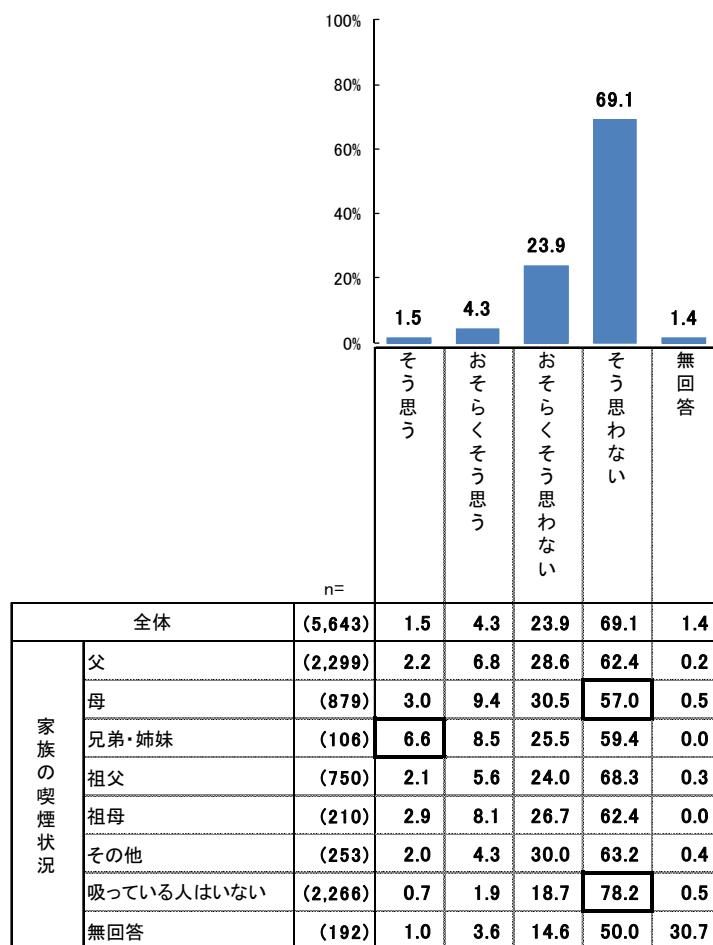
- ▶ たばこを吸ってみたいと思いますか。



- ▶もし友人や先輩からたばこを勧められたら断ることができますか。

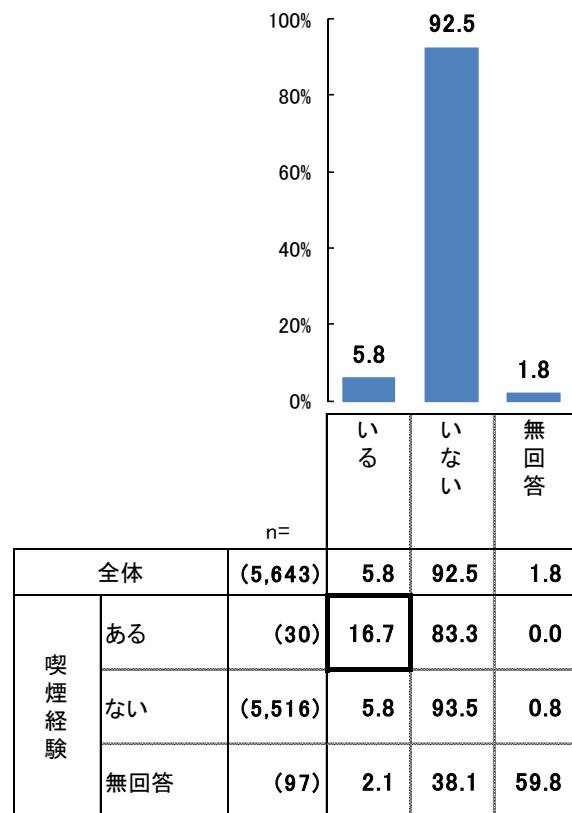


- ▶あなたが将来大人になったときにたばこを吸っていると思いますか。

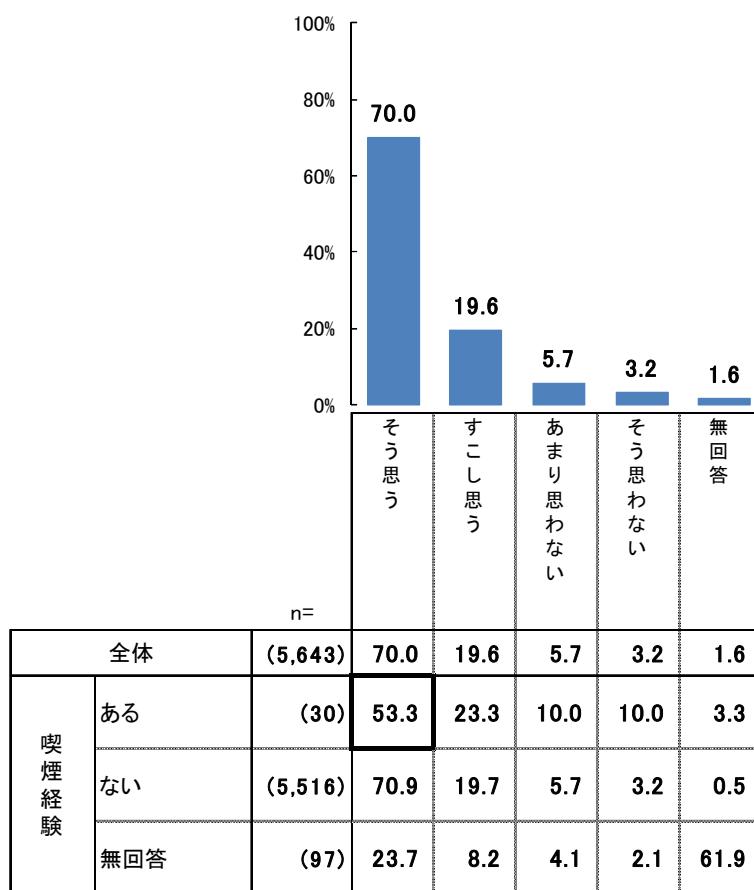


＜喫煙経験とのクロス集計＞

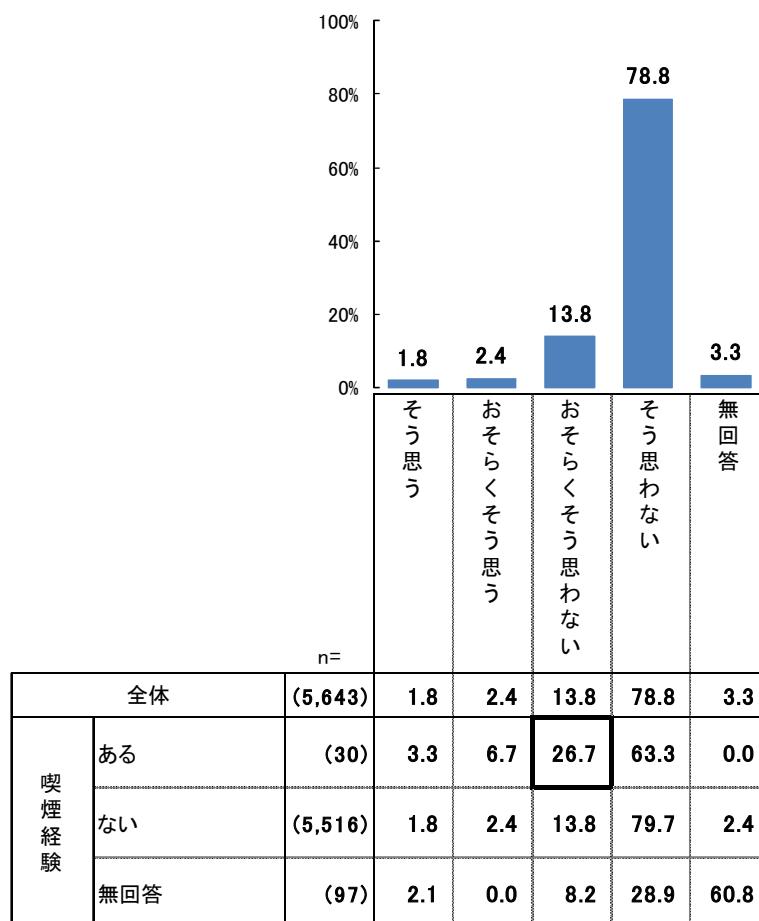
- ▶ まわりの友人や先輩でたばこを吸っている人はいますか。



- ▶ まわりのたばこを吸っている人にたばこをやめてほしいと思いますか。



- ▶ あなたが将来大人になったときにたばこを吸っていると思いますか。



<性別とのクロス集計>

- ▶ たばこは身体に悪いと思いますか。

